

## 6月議会が7月2日に閉会 みのわ信矢一般質問で登壇

松戸市議会6月定例会が、6月18日から7月2日までの会期で開催されました。今議会は、新たに市長として就任した松戸隆政市長のもとで行われる初めての定例会でした。そのため、どのようなスタンスで議会と向き合うのか、どういったビジョンや理念が示されるかといったことへの関心も高く、注目を集めた議会といえます。

最も市民の関心が高いトピックとしては、市役所庁舎の移転についてでしょう。市はこれまで、松戸駅東口にあたる相模台地区への移転を目指して、議会や市民に理解を求めてきた経緯があります。近年は①現地建て替えか、②相模台への移転か、という二つに一つということろまで候補地が絞り込まれてきていました。そして、昨年6月議会において、市から「庁舎を相模台に移転したり。そのために、同地区にある旧法務局の跡地を国から買い取りたい」という意向が示され、その買取り予算案を議会に提案しました。議会内には、現地建て替えを求める考えもあれば、移転でもよいという考えもあり、慎重に議論を積み重ねました。その結果、43人の議員のうち31人が土地の買取りに賛成し、可決。これをもって相模台への移転計画がスタートしたといえます。

相模台への移転が現実味を帯びてきたこの時期に、今回の松戸市長選挙が行われました。5人の候補者で市長の座が争われましたが、ある候補者は移転推進を、ある人は現地建て替えを、また別の候補者は白紙撤回を、と主張もまちまちだったなかで、当選した松戸市長は白紙撤回を掲げて選挙を展開していました。

松戸市長の述べる白紙撤回とはどのような内容なの



か、6月議会では数多くの議員が質問をしています。これに対して、決して現地建て替えに切り替えるということではなく、もう一度これまでの経緯を精査して、コスト・工事期間などあらゆる面で最適な建て替え地を早急に最高することだ、としています。そして、次の9月議会には建て替えに関するビジョンを議会に示すと答弁。9月議会にご注目ください。



### みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年6月29日生まれ
- 出身地 松戸市常盤平
- 学歴
 

昭和55年	常盤平第1小学校	卒業
昭和58年	青山学院中等部	卒業
昭和61年	青山学院高等部	卒業
平成 2年	青山学院大学	
	経営学部経営学科	卒業

- 主な議会経歴
  - 松戸市議会議員 5期目
  - 松戸市監査委員
  - 教育環境常任委員長
  - 都市整備常任委員長
  - 予算審査特別副委員長
  - 決算審査特別副委員長 など

- その他の主な経歴
  - 中央学院大学 法学部 非常勤講師
  - 松戸市子ども会常盤平地区 会長
  - 松戸市立常盤平中学校 P T A 会長
  - 松戸青年会議所 常任理事